

農産 F A X 情報 第 8 号

令和 5 年 9 月 1 日

ゆとりみらい 21 推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1 秋まき小麦（作付前の準備）

○心土破碎

・排水対策を行うことで、降雨によるは種作業の遅れや生育不良を軽減することができます。雨水や融雪水が速やかにほ場外へ排出されるようサブソイラ等で耕盤層を破碎し、土壌の通気性・排水性を確保しましょう。

※土壌水分が多い状態で施工すると土壌物理性の悪化をまねくことがあります。サブソイラ等の施工は土壌の状態を確認してから実施してください。

○土壌 pH の矯正

・秋まき小麦は、pH5.0 以下の酸性土壌で収量が落ちる傾向があります。石灰質資材を投入しましょう。

※生石灰・消石灰は種子に触れると障害を起こすことがあります。施用する際は、は種の 1~2 週間前に土壌と混和してください。

2 てんさい

○褐斑病の防除

・地域内で発生が拡大しております。9 月以降も引き続き防除を実施しましょう。

※発生状況を確認し、防除間隔を短くすることを検討してください。

○ヨトウガ・シロオビノメイガの防除

・若齢幼虫の発生が確認されております。ほ場観察を行い、防除を行いましょう。残効性の高い薬剤（マッチ乳剤、カスケード乳剤）を発生初期に散布することで、長期間の密度低減が期待できます。

3 豆類

○灰色かび病・菌核病の防除

・地域で発生が確認されています。防除薬剤は、使用した薬剤の系統を確認し同系統薬剤の連用にならないよう選定しましょう。

4 ばれいしょ

○疫病（塊茎腐敗）の防除

・疫病による塊茎腐敗の拡大を防ぐため、9 月以降も防除を実施する場合は収穫前使用時期に注意してください。

収穫作業は周囲に注意し、こまめな声かけを！

ドリフト防止を励行し、収穫が近い作物には特に注意！